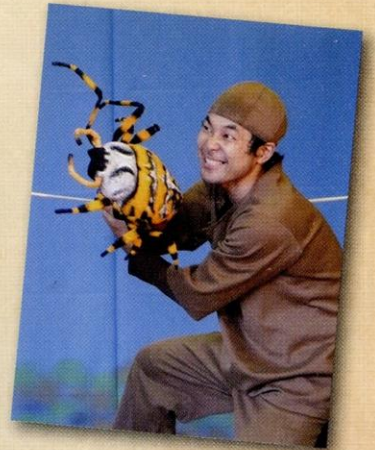
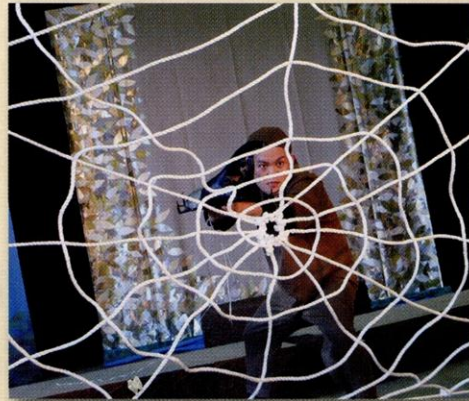
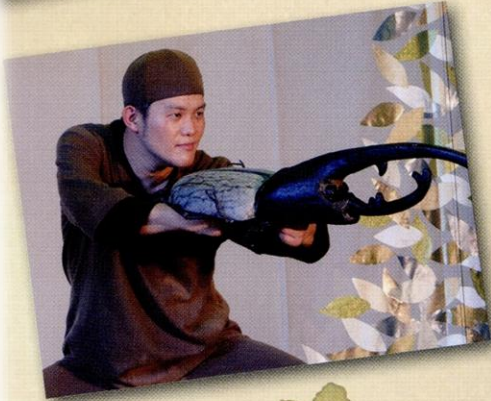


かぶとやま大騒動

作・脚本 榎田 大介
 脚本協力 田中つとむ
 演出 中島 研
 美術 有賀 二郎
 美術助手 小峯 三奈
 音楽 曲尾 友克
 身体表現 若林こうじ
 衣裳 田島 千穂
 制作 西川 典之



あらすじ

最近弟が生まれ、なんとなく寂しい思いをしている小学5年生の修一と、一人っ子で毎日塾とお稽古ごとで忙しく、あそび時間もない同級生の直人。修一には幼虫の時から大事に育てたカブトムシの「ポルト」がいます。直人には、お父さんから買ってもらった「ヘラクレスオオカブト」がいます。カブトムシの相撲では連戦連勝の自慢のカブトムシです。

そんなある日、直人の元から突然ヘラクレスが消えてしまったのです。気を落とす直人を修一はカブトムシがたくさん捕れる「秘密の木」のある「かぶとやま」に誘います。かぶとやまのクヌギの木の下で虫捕りに夢中になっていた二人は、どこからか聴こえてくる不思議な声に導かれ、いつのまにか昆虫世界に紛れ込んでしまいます。

昆虫世界では珍しい「人間の子ども」として捕まってしまった二人、かぶとやまに少しずつおとずれている変化、昆虫たちの争い…。

二人の少年は、この虫たちの繰り広げる不思議な世界で、いったい何を見、何を思うのでしょうか。

